

京橋図書館だより

京橋地域の街とともに歩んだ 京橋図書館の歴史



京橋図書館男子閲覧室 昭和5年（1930）撮影

* 京橋図書館のあゆみ
* 『本の森ちゅうおう』のご案内

この街の移り変わりを
見つめてきました

京橋図書館は

創設111年、

「日本ではじめて」も、「日本といえば」も

文明開化の歴史は、この街の歴史でもあります。「日本ではじめて」の様々な事始めや発祥の地で、多くの逸話が生まれました。ハイカラの代名詞だった京橋地域の街は、いつの時代も最先端を闊歩して、街中がひとつ大きな社交場のようです。

「日本といえば」「東京といえば」で、誰もが思う名所や名物もずらり。古い歴史を持つこの街には、のれんを守り続ける老舗や、代々受け継がれた芸や技があります。そして「伝統」のみならず、新しいものを取り入れる流行の発信地としても発展しています。

京橋図書館はこの冬、現在の築地一丁目から少し離れた新富一丁目へ移転します。この街の歴史を百年以上見つめてきた京橋図書館。これから続く年月も、この街と一緒に、未来を紡ぐ図書館でありたいと思っています。

明治生まれの京橋図書館は、今年で創設百十一年を迎えるました。今号の図書館だよりでは、図書館と地域の街並みにスポットを当てて、写真とともにその歴史を振りかえります。

百年続いた図書館から、

千年続く図書館へ向かって



画像出典：
国立国会図書館電子展示会
中央区立京橋図書館地域資料室



江戸時代から昭和10年まで、
京橋のたもとには「**大根河岸**
(だいこがし)」と呼ばれる青物市
場があった。大正時代、鉄道
が発達し河川交通はなくなり
つつあったが、京橋川には依
然として朝早くから多くの荷
舟が行き交い、大根河岸は
人々の生活を支えていた。

川瀬巴水 『大根河岸の朝』

いそがしさかな
灯ともる頃の
京橋の瀧山町の新聞社

明治42年、朝日新聞社に勤める。
『京橋の瀧山町の新聞社』



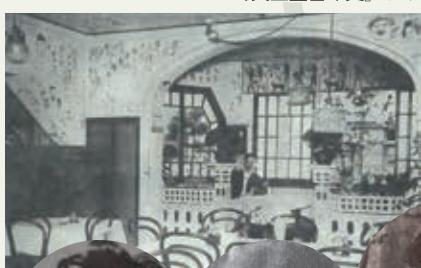
石川啄木
(1886-1912)

明治40年、現在の銀座六丁
目にあった朝日新聞社に入
社。『三四郎』『それから』
『ここ』などを連載。



夏目漱石
(1867-1916)

明治44年開業の「カフェープランタン」店内
壁には多くの文士・芸術家の落書きがある
『資生堂百年史』より



太宰治
(1909-1948)



芥川龍之介
(1892-1927)

昭和3年、新川の裕福な酒
くのアパートを借り、酒屋
間屋に嫁ぐが、やがて家業
が傾き破産。築地本願寺近
くのアパートを借り、酒屋
を始める。朝日新聞に「酒
仙・露伴博士の令嬢が酒店
を開業 奥様業から街頭
に」と掲載された。



永井荷風
(1879-1959)



幸田文
(1904-1990)

明治44年
1911

文明開化を迎えた明治期
には「洋食」と「カフェ」
文化が生まれた。以来、
大正・昭和と、数多くの
作家や芸術家が集つた。

創刊号の表紙絵は
長沼（後の高村）智恵子。
同年のノーベル文学賞は
メーテルリンク
化学賞はマリー・キュリー。
同年、**京橋簡易図書館**が開館



川瀬巴水 (1883-1957)
平塚らいてう
(1886-1971)



『明石町乃雨後』



島崎藤村
(1872-1943)



北村透谷
(1868-1894)

京橋図書館のあゆみ



金六町時代の京橋簡易図書館

- 大正11年（一九二二）3月
京橋区金六町16番地に移転し、4月に閲覧開始。
- 大正2年（一九一三）4月
京橋第一簡易図書館から「京橋図書館」に改称。
- 大正元年（一九一二）10月
館外貸出開始。

- 明治44年（一九一一）2月
京橋区金六町21番地（現在の銀座一丁目、京橋尋常小学校内）に京橋簡易図書館が開館。
- 明治45年（一九一一）4月
京橋簡易図書館から「京橋第一簡易図書館」に改称。

—街のトピックス—

「寄席」

明治期に流行した娯楽のひとつに「寄席」があります。明治39年時点では京橋区内にも金沢亭（銀座一丁目）をはじめとする11か所の寄席がありました。金沢亭は震災後に東朝座と改めて再開しましたが、区画整理により消滅し、銀座の寄席は無くなってしまいました。このほか京橋区には、震災後にも住吉亭（八丁堀二丁目）、聞樂亭（西八丁堀一丁目）、月島演芸館（月島）などが残っていましたが、戦時中の空襲被害や戦後の閉館などを経て現在に至っています。



築地魚市場（昭和）

「日本橋魚市場の築地移転」

震災後の大正12年12月、日本橋魚市場は築地の海軍技術研究所跡に移転しました。新市場の土地買収問題などをはじめとする対立のため、築地本場で業務が開始されたのは昭和10年です。また、大正13年の中央卸売市場法により、築地のほか神田、江東など各地で市場が設置されました。



築地市場（昭和）

「築地小劇場」

大正13年6月13日、土方与志や小山内薰らによって立ち上げられた築地小劇場の第1回公演が開催されました。この公演では「白鳥の歌」「休みの日」「海戦」の翻訳劇を上演しました。大正15年に坪内逍遙の「役の行者」を披露して以降は、日本作家の創作劇の上演も行われました。



築地小劇場（昭和）

■大正12年（一九二三）9月
関東大震災発生により焼失。

■大正13年（一九一四）5月

仮建築で開館、閲覧を開始。

■昭和2年（一九二七）10月

京橋区木挽町二丁目13番地（現在の銀座二丁目）に移転。閲覧開始。

■昭和4年（一九二九）11月

京橋区築地一丁目28番地に、京橋区役所と京橋公会堂の複合施設として、京橋図書館が開館。



京橋図書館の公開書架室 昭和4年（1929）

■昭和12年（一九三七）2月
内務省委託図書の受取開始。

「空襲」

京橋区は、昭和19年の浜離宮の空襲からはじまり、昭和20年3月10日の東京大空襲で特に大きな被害を受けました。また、その後の空襲でも銀座三越や松屋、御木本真珠店といった建物が焼失しました。



三吉橋（奥は中央区役所）
昭和35年（1960）



勝鬨橋の開橋
昭和22年（1947）

「勝鬨橋」

築地と月島を結ぶ勝鬨橋は明治時代から計画されており、実際には昭和8年に着工、7年の歳月をかけて昭和15年に完成しました。勝鬨橋は、日中戦争の影響で中止となつた万国博覧会会場のメインゲートとなる予定でした。

中央区役所正面にある三吉橋は、震災後の帝都復興計画の一環として、昭和5年に新設されました。架橋当時はこの橋の下が楓川・築地川の連絡運河となっていましたが、昭和37年に川は埋め立てられました。

「三吉橋」

「新橋演舞場」

大正11年から建設工事が行われていましたが、関東大震災により、竣工したのは大正14年3月となりました。4月1日に落成式を行、新橋芸妓連の「東をどり」を開演しました。「東をどり」は大戦の折に中断を余儀なくされましたが、昭和23年に復活、近年では毎年5月に開催されています。

昭和25年（一九五〇）

5月に館外貸出制度、8月に公開書架が復活。

■昭和36年（一九六一）12月

実業資料室を新設。
翌年4月に図書の団体貸出開始、郷土資料室を開設。

■昭和42年（一九六七）11月

区役所本庁舎建て替えのため休館。

■昭和45年（一九七〇）4月

現在の本庁舎内に京橋図書館開館。先行して1月に新館で児童室のみ開室。



中央カウンターから参考調査コーナー
昭和60年（1985）



京橋図書館入口
昭和46年（1971）

「戦後の接収建物」

焼け残った都心のビルの多くは占領軍の施設や宿舎として接收されました。服部時計店（現和光）・松屋銀座店・日本橋白木屋百貨店（現東急）なども接收され、PX（酒保）として開設されました。また、明石国民学校（現明石小学校）や月島第三国民学校（現月島第三小学校）も占領軍施設として接收されました。

「中央区誕生」

昭和22年に京橋区・日本橋区が合併し、中央区となりました。翌23年には区の紋章と、土岐善磨選詩・橋本国彦作曲の「東京都中央区歌」が区歌として制定されました。紋章は京橋・日本橋の欄干擬宝珠を図案化し、日本と東京の中心を示す小円で構成されています。

「新庁舎の完成」

現在の庁舎は、昭和4年に建てられた旧庁舎を解体し、一度更地にした上で改めて建てたものです。建て替えが完了するまで仮庁舎で業務が行われ、昭和44年11月に新庁舎の落成式が行われました。



中央区役所（京橋図書館は庁舎内）
昭和46年（1971）



銀座通りの歩行者天国
昭和47年（1972）10月

「川・堀の埋め立て」

戦後の復興にあたり、灰じん処理のため三十間堀川などの埋め立てが始まりました。区内の水路は自動車道路に役割を譲ることになり、昭和39年の東京オリンピックに向けての道路整備が進んだことから、中央区内は自動車交通が中心となりました。



参考資料
『中央区史』『中央区三十年史』『中央区年表』『京橋図書館100周年誌』『図説中央区史－区制施行50周年記念』『中央区の橋・橋詰広場－中央区近代橋梁調査』『中央区文化財調査報告書 第5集』『築地小劇場展－震災から戦災までの軌跡』
をたどる 中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）第7回特別展』『中央区政年鑑』

■令和4年（二〇二二）12月

中央区新富二丁目13番14号に京橋図書館、郷土資料館多目的ホールやカフェを備えた複合施設「本の森ちゅうおう」が開館予定。

京橋図書館からのお知らせ

令和3年度 京橋図書館ベストリーダー

●一般書

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1位 「魔力の胎動」 | 東野圭吾 |
| 2位 「希望の糸」 | 東野圭吾 |
| 3位 「流浪の月」 | 嵐良ゆう |
| 4位 「クスノキの番人」 | 東野圭吾 |
| 5位 「かがみの孤城」 | 辻村深月 |
| 6位 「元彼の遺言状」 | 新川帆立 |
| 7位 「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」 | 東野圭吾 |
| 8位 「52ヘルツのクジラたち」 | 町田そのこ |
| 9位 「沈黙のパレード」 | 東野圭吾 |
| 10位 「白鳥とコウモリ」 | 東野圭吾 |

●児童書

- | | |
|--------------------|----------|
| 1位 「がたんごとん がたんごとん」 | 安西水丸 |
| 2位 「くだもの」 | 平山和子 |
| 3位 「だるまさんと」 | かがくいひろし |
| 4位 「だるまさんの」 | かがくいひろし |
| 5位 「おしりたんてい」 | トロル |
| 6位 「だるまさんが」 | かがくいひろし |
| 7位 「もこもこもこ」 | 谷川俊太郎 |
| 8位 「サンドイッチ サンドイッチ」 | 小西英子 |
| 9位 「おばけのバーバパパ」 | アネット・チゾン |
| 10位 「こぐまちゃんのみずあそび」 | わかやまけん |

10位以内中、6つが東野圭吾でした！！

かがくいひろしの「だるまさん」シリーズが全てランクイン！！

●CD

- | | |
|-------------------|---------|
| 1位 「YANKEE」 | 米津玄師 |
| 2位 「風街ろまん」 | はっぴいえんど |
| 3位 「リボルバー・セッションズ」 | ザ・ビートルズ |
| 4位 「BOOTLEG」 | 米津玄師 |
| 5位 「オン・ファイアー」 | クイーン |

●DVD

- | |
|---------------|
| 1位 「百年の男」 |
| 2位 「アラビアの女王」 |
| 3位 「千と千尋の神隠し」 |
| 4位 「グラスホッパー」 |
| 5位 「アンを探して」 |

CDは米津玄師が2つランクイン！！



おすすめの絵本

『おとがあふれてオムライス』

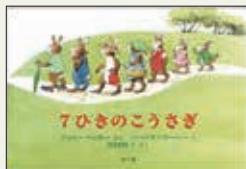
夏目義一／さく（福音館書店）

きょうのごはんは、オムライス。タマネギをきつて「づあんづあんづあん」。やさいをいためて「じゅうじゅうじゅうじゅうじゅう」。おいしそうな音がたくさんある絵本です。



『7ひきのこうさぎ』

ジョン・ベッカー／ぶん　バーバラ・クーニー／え
岸田衿子／やく（好学社）



7ひきのこうさぎが、ともだちの力エルにあいにいきます。ひよこひよこあるいていると、1ひきのこうさぎがくたびれておやすみしてしまいます。そのうちに、2ひきめのこうさぎもくたびれてしまい……。のこりはなんびきでしようか？

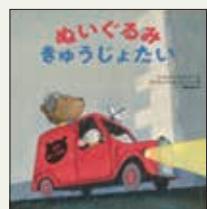
『ぬいぐるみきゅうじょたい』

ティエリー・ロブレヒト／ぶん

デイヴィッド・B. ドレイパー／え

川野太郎／やく（岩崎書店）

けがをしたまいごのクマくんをたすけに、ぬいぐるみきゅうじょたいがしゅつどう！　パトロールチームやおとどけチームなど、ネズミのたいいんたちがだいかつやくします。クマくんは、おうちにかえることができるのでしょうか？



京橋図書館休館特別展示

「京橋図書館ご愛顧ありがとうございました」

開館から111年、築地に移転してから93年の図書館の歴史を所蔵写真で振りかえる特別展示を開催します。

令和4年7月22日～8月31日

現京橋図書館入口・階段踊り場付近



そして本の森へ

What?

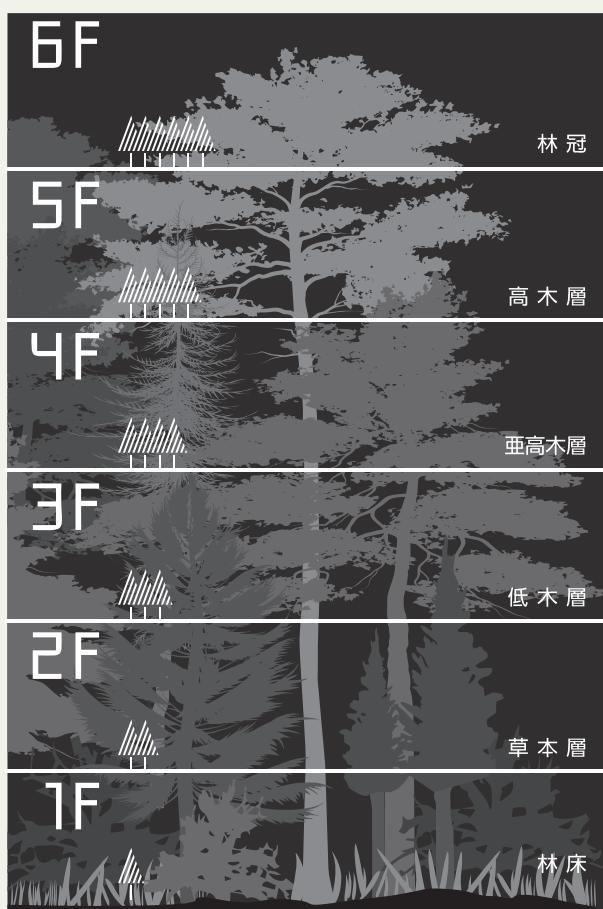
「本の森ちゅうおう」って？

京橋図書館と郷土資料館が併設され、さらに多目的ホールやカフェを備えた複合施設です。

Which?

「本の森ちゅうおう」はどの階に何がある？

建物の構造、各フロアをご案内します。



各階には森林の階層構造の名称がつけられています。

森林の階層構造とは…

森林に生息する植物は、背の高い木から背の低い草や苔まで多種多様であり、それらは互いに支え合って生命を維持しています。

Where?

「本の森ちゅうおう」は駅の目の前！

所在地：中央区新富1丁目13番14号

最寄り駅は、東京メトロ日比谷線・JR京葉線「八丁堀駅」
現在の京橋図書館からも歩いて行けます。

子どもから大人まで誰もが親しみを持って利用でき、歴史・文化を未来へ伝える地域の生涯学習拠点

When?

「本の森ちゅうおう」はいつから始まる？

令和4年12月4日 開館です。

フロアコンセプト	フロア案内
都心にありながら、自然を感じられる庭園	屋上庭園 屋上展望台
ビジネスを支援し、ボランティア活動など人が集まるフロア	ビジネスコーナー ラウンジ 交流活動室
一般図書を中心に皆さまの調査・課題解決をお手伝いするレファレンスコーナー	一般コーナー レファレンスカウンター 学習室
文学作品/ティーンズをそろえた図書館のメインフロア	一般/ティーンズコーナー 予約/返却コーナー 新聞/雑誌コーナー 学習室/グループ学習室
地域の歴史や情報にふれられるコーナー 親子がともに楽しめるコーナー	郷土資料館企画展示室 地域資料室 こどもコーナー/おはなしのへや 暮らし/旅行/子育てコーナー
ご来館された皆さまをあたたかく迎えるエンタランスホール	郷土資料館常設展示室 多目的ホール / カフェ 総合案内



【八丁堀（はっちょうぼり）】の由来

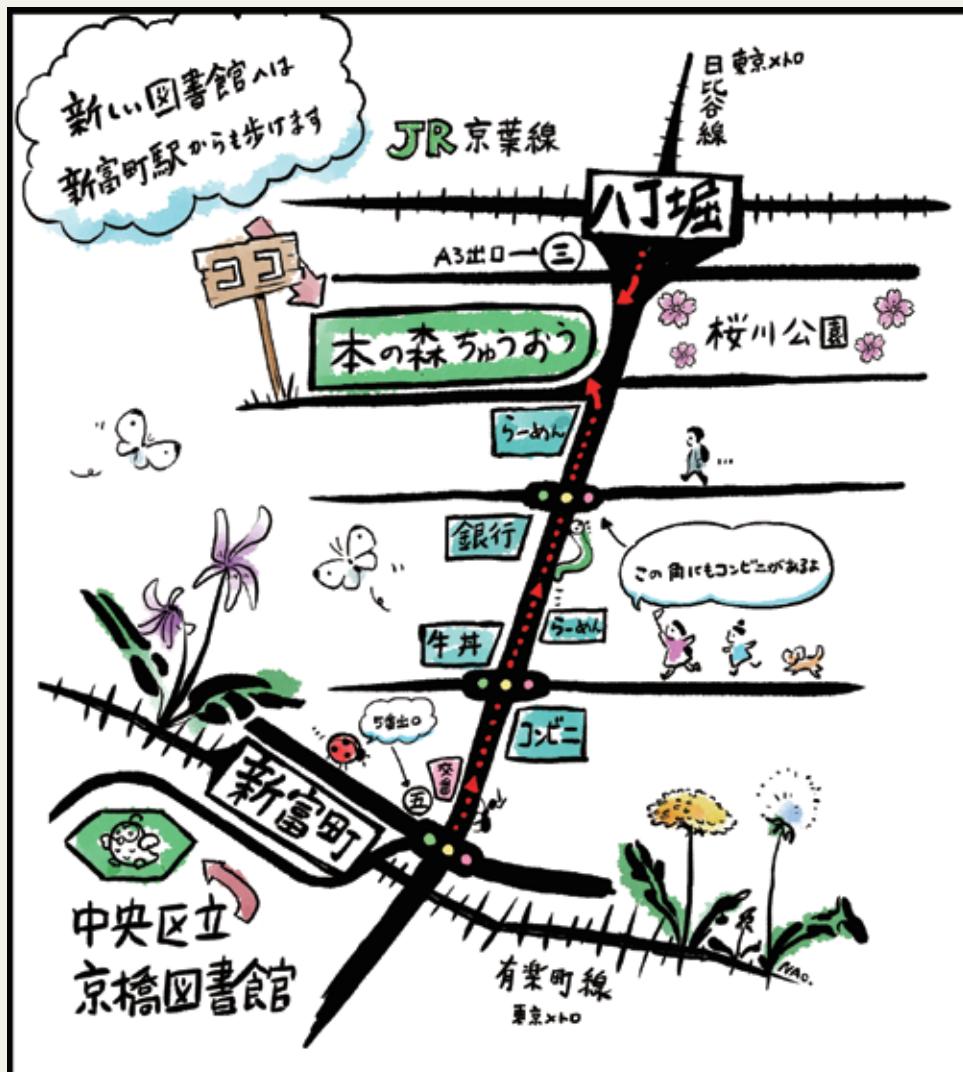
本の森ちゅうおうは、東京メトロ八丁堀駅 A3出口のすぐそば（約100m）に所在します。

八丁堀の名前の由来は、江戸城に物資を運んだ人工的な堀（水路）の長さが八町（約872m）あったことから、八町（丁）堀と呼ばれるようになったといわれています。

また、八丁堀は江戸時代を通じて、町奉行配下で働き、捕り物の指揮をとったり、取り調べや経理などの事務を行う「与力」や「同心」の屋敷が集まっていたため、町の人たちは彼らを「八丁堀のだんな」などとも呼んでいました。

参考：『中央区三十年史 上巻』 東京都中央区役所 昭和55年

『中央区の昔を語る（一）－八丁堀・佃島－』 中央区教育委員会 平成元年



※京橋図書館（現在）から本の森ちゅうおうまでの距離 約600m

編	集
後	記

京橋図書館がこの地に開館してから93年、永年にわたりご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。京橋図書館は9月1日から休館となり、皆さんには大変ご不便をお掛けしますが、12月4日に「本の森ちゅうおう」で、新たにオープンいたします。

「本の森ちゅうおう」は、今までの京橋図書館の伝統を継承しつつ、新たな図書館としての魅力を皆さんにご提供できるよう万全の準備をしてまいります。

皆さまのご来館を心よりお待ちしています。

中央区立京橋図書館 指定管理者（株）図書館流通センター